

## 令和6年度 第1回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和6年5月31日(金) 13時30分から14時20分まで																					
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室																					
議 題	委員長及び副委員長の選出について、定例報告及び紹介率向上への取組みについて																					
出席委員 (敬称略)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%;">委員長</td> <td style="width: 40%;">大垣市医師会長</td> <td style="width: 10%;">沼口 諭</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大垣市医師会副会長</td> <td>竹中 清之</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大垣市医師会理事</td> <td>森 俊治</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>揖斐郡医師会会長</td> <td>野田 宜輝</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大垣歯科医師会副会長</td> <td>北村 浩之</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大垣薬剤師会長</td> <td>松本 正平</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大垣市教育委員会教育長</td> <td>細江 敦</td> </tr> </table>	委員長	大垣市医師会長	沼口 諭	委員	大垣市医師会副会長	竹中 清之	委員	大垣市医師会理事	森 俊治	委員	揖斐郡医師会会長	野田 宜輝	委員	大垣歯科医師会副会長	北村 浩之	委員	大垣薬剤師会長	松本 正平	委員	大垣市教育委員会教育長	細江 敦
委員長	大垣市医師会長	沼口 諭																				
委員	大垣市医師会副会長	竹中 清之																				
委員	大垣市医師会理事	森 俊治																				
委員	揖斐郡医師会会長	野田 宜輝																				
委員	大垣歯科医師会副会長	北村 浩之																				
委員	大垣薬剤師会長	松本 正平																				
委員	大垣市教育委員会教育長	細江 敦																				
公開区分	公開																					
傍 聴 人	なし																					
概 要	<p><b>1. 委員長及び副委員長の選出について</b></p> <p>「地域医療支援病院に関する委員会設置要綱」の第4条第1項の規定に基づき、委員の互選によって、委員長には大垣市医師会長の沼口 諭氏、副委員長には大垣歯科医師会長の馬淵 直樹氏が選出された。</p> <p><b>2. 報告事項</b></p> <p><b>(1) 定例報告事項</b></p> <p>1) よろず相談・地域連携課から、<b>①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績等</b>について報告した。</p> <p>①紹介率……5年4月～6年3月:70.3% 6年4月:74.0% 逆紹介率…5年4月～6年3月:149.8% 6年4月:151.5%</p> <p>②地域連携予約診察件数…5年4月～6年3月計:11,216件 6年4月計:973件 地域連携予約検査件数…5年4月～6年3月計:778件 6年4月計:58件</p> <p>③開放型病床登録医数…6年4月末:163人(医科134人、歯科29人) 開放型病床利用率…5年4月～6年3月:7.1% 6年4月:8.7% 緊急緩和ケア病床利用率…5年4月～6年3月:2.6% 6年4月:0%</p>																					

④救急受診患者数…5年4月～6年3月計:38,431人(月平均3,203人)  
6年4月 2,637件

救急車利用件数…5年4月～6年3月計:11,113件(月平均926件)  
6年4月 798件

救急入院患者数…5年4月～6年3月計:3,559件(月平均297件)  
6年4月 295件

⑤地域医療従事者に対する研修…5年4月～6年3月開催数:27回、院外受講者139人

6年4月開催数:開催実績なし

\*病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会、西濃地域緩和ケア研修会、薬薬連携研修会、糖尿病メディカルセミナー、診療報酬に関する委員会等市民対象講演会等…5年4月～6年3月開催数:6回、院外受講者174人

6年4月開催数:開催実績なし

⑥地域連携クリニカルパス登録状況…5年4月～6年3月登録総数737件  
6年4月登録総数63件

6年4月末時点でのパス開始からの登録総数:12,856件

⑦OMNet利用状況…6年4月末時点の利用登録医療機関:130機関  
診療情報閲覧に同意した患者総数:42,880人

⑧地域の医療機関との連携相談実績…5年4月～6年3月計:11,995件  
6年4月 1,031件

医療相談実績…5年4月～6年3月計:1,786件 6年4月 164件  
令和5年度諸記録の管理・閲覧 0件

## 2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。

(委員)

総合内科が前年度に比べると多くなっていますが、何か理由があったのですか。

(事務局)

「不明熱」というものを診ていたので、その件ではないかと思われま。

(委員)

救急統計の方で、救急の受診患者数が減ったが、救急車の利用台数が逆に増えているような報告であります。より必要な人が救急で利用されていると解釈すればよろしいですか。

(事務局)

その通りです。

(委員)

クリニカルパスで、新しい薬がどんどん出てきていますが、それは反映されていますか。

(事務局)

例えば糖尿病のパスは、「こういう薬を使え」というのではなくて、糖尿病のガイドラインとかが、ガイドブックの「推奨してそれにならって使いましょう」というのはある。我々の方で「こういう薬を使いましょう」とか「こういう薬を推奨します」とかのアドバイスはさせていただきますが、この薬を使うという決め事はありません。特にこの治療法を統一するという事はどのパスでもしていないと思います。

(委員)

紹介率は科ごとに50%を目指さなくてもいいのかどうですか。

(事務局)

科の診療の状況によっては、患者さんが多い科とかそうではない科があつて、数字の違いは出てきます。

地域医療支援病院の基準としては十分クリアしているので、紹介率より紹介の数をこれから増やしていきたいと考えています。

## (2)紹介率向上への取り組みについて

1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。

①令和5年度の患者さんからの電話予約実績は707件。地域別では大垣市の先生が約9割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約4割を占めており小児科、頭頸部・耳鼻咽喉科の順となっている。6年度4月の患者さんからの電話予約実績は66件。

②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和3年度から令和5年度までの3年間で利用合計は151件。診療科別としては、循環器内科が32.0%、神経内科が17.0%で、この2科で約5割以上を占めた。6年度4月の相談件数実績は5件。

2)委員から、上記の報告について意見・質問はなし。

## 3. その他

(委員)

大垣市民病院の薬剤部の採用募集は6月に発表されて、試験は7月。他の病院は4月に採用募集を行っています。4月時点で学生が把握できるような状況にしたいです。

(事務局)

事務的に難しい面もありますが、また検討していきたいです。

(委員)

地域連携の直通電話は使い勝手が良くて助かっています。患者さんの名前とかド

クターの名前を書き間違えると全部書き直してくださいみたいな感じで言われ  
ます。寛容にできないですか。

(事務局)

書類を整えるうえにおいて、監査とか入ったりした時に指摘があるかもしれませ  
んので、その部分の訂正を大変申し訳ありませんがお願いさせていただいていま  
す。ご協力をお願いさせていただきたいです。

(委員)

当日、ある科に紹介したい時に地域連携グループを通してやりとりした方が良い  
ですか、直接その科とやりとりした方が良いですか。

(事務局)

医師同士でないと分からないような話であれば直接連絡していただいた方が良  
いですが、あわてない紹介であれば地域連携グループを通していただきたいです。

(委員)

元の医院にどれくらい帰ったのかという事を知りたいです。在宅クリニックが増  
えてきて、もともとかかりつけであった患者さんがそのまま入院を契機に在宅クリ  
ニックに行ってしまうという例が結構あります。もとの医院に帰った率というのも  
分かれば出していただきたいです。

(事務局)

どのように抽出とか、やれるやれないも含めて調べさせていただきたいです。手  
拾いになる可能性が高いです。

(委員)

下り搬送について一気に話を進めていってもらいたいです。

(事務局)

病院内に委員会を作ってできるだけ早くシステムを作れるようにやっています。  
もう少しお時間をいただければと思います。

(委員)

例えば腎炎の疑いの人は大垣市民病院の小児科の先生方で受けていただけるの  
ですか。

(事務局)

確認してお知らせさせていただきたいです。

(委員)

今度の病院の点数の改定で気をつけた方がいい事はありますか。

(事務局)

これまで通りの部分が多いので大きくそれによって点数の変更、収入的なものが  
変わるかと言われるとそういうものはありません。紹介をたくさんしていただくと  
初診の部分の点数であったり、いろんなものが今回上がっているので、そういった  
点ではたくさんこちらに患者さんを送っていただけるとありがたいです。

	<p>(委員)</p> <p>救急に紹介させてもらう時に、入院になるような場合は、担当の先生に電話した方がいいと聞きましたが。</p> <p>(事務局)</p> <p>救急の医師から診療科を通さずに救急に直接電話をかけていただいて相談されても答えにくいところがあります。入院した後の対応はその診療科の医師が対応するので、診療科の医師にできるだけ相談してほしいという意見は伝えさせていただきたいです。ただ、市民病院に紹介するというのが抑制されるような形になってはいけないという事を我々も十分承知しています。</p>
次回開催	令和6年度第2回委員会は8月2日に開催予定とする。